人を対象とする生命科学・医学系研究に関する研究計画書概要及び公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：2025 年 2 月 21 日
研究課題名：体表面画像誘導放射線治療（SBRT）を用いた全乳房温存術後照射のマーカーレス放射線治療 研究期間：倫理審査承認後～西暦　2028 年 3 月
研究対象：2023 年以降に当院で治療した全乳房温存術後照射をした症例
対象材料： □病理材料（対象臓器名　　）□生検材料（対象臓器名　　） □血液材料　□遊離細胞　■その他（　体表面画像、位置照合画像　） 上記材料の対象期間　西暦　2023 年 10 月　～　2028 年 3 月
意義・目的： 放射線治療では、対象の標的に対して正確に治療を行うために放射線治療計画ＣＴ撮影時と治療時の体位を同一にする必要があります。以前は、治療時の体位の再現性を確保するため、皮膚に直接ペンを用いてマーキングし、治療時の位置と身体に書いた３点のマーキングを合わせる必要がありました。しかし、皮膚マーキングは患者の日常生活において、様々な心理的ストレス（衣服への色移り、マークの消失不安など）を与えており、皮膚マーキングの最小化または用いない治療が求められ、その適応が拡大しています。 今回、当院の放射線治療装置更新に伴い、マーカーレス放射線治療を可能にする装置（Surface guided radiotherapy: SGRT）が導入されました。これにより、乳がんの術後照射においてもマーカーレス放射線治療が可能になりました。そして、患者さんの皮膚マーキングにおけるストレスの最小化が図れるものと考えています。一方、これは新しい技術なので、放射線治療の精度が保たれているかどうか評価をする必要があります。本研究では、マーカーレス放射線治療が従来の皮膚にマークを書く放射線治療と同等の精度が担保できているかどうかを評価することを目的としています。
方法： 本研究は後ろ向き観察研究です。患者さんに対する侵襲は一切ありません。 当院で治療した全乳房温存術後症例に対し、SGRT を用いて患者位置決めを行い、初回もしくは定期的に位置精度を確認する目的に撮影した位置照合画像の座標を集計し、患者位置決めセットアップエラーの解析を行います。 本研究においては、個人が特定できない形でデータを取り扱います。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院　放射線治療科 大城佳子（代表番号 029-851-3511）